

世界の兄弟へ三線を贈るプロジェクト



10周年記念事業 1号

おきぎんふるさと振興基金助成

世界の兄弟へ三線を贈るプロジェクト実行委員会

三線を以って世界の架け橋と為る

— 琉球音楽の使命は平和なり —

琉球古典音楽中興の祖 山内盛彬



10年の歩み

2014年 4月5日 「世界の兄弟へ三線を贈るプロジェクト」設立
7月21日 RBCi ラジオスペシャル「海を渡る～三線」
ドイツ沖縄県人会 第3回世界若者ウチナーンチュ大会
ドイツにおいて贈呈 10丁

2015年 フィリピン沖縄県人会 第4回世界若者ウチナーンチュ大
会フィリピンにおいて贈呈 10丁

2016年 北米沖縄県人会5丁
ブラジル うりずん会（事務局松本カリナ）第6回世界ウ
チナーンチュ大会において贈呈 5丁

2017年 ペルー沖縄県人会 第6回世界若者ウチナーンチュ大会ペ
ルーにおいて贈呈 10丁

2018年 ボリビア沖縄県人会沖縄県人ボリビア移住110周年記念
祭において贈呈 15丁

2019年 ハワイ沖縄連合会 糸村ジョン昌一専務理事へ中城村吉
の浦会館において贈呈 10丁

2020年 フランス・沖縄欧州文化連合会 第7回世界ウチナーンチュ
大会において贈呈 15丁

2021年 在沖縄ミャンマー人会 糸満市新川公民館 10丁

2022年 カナダ・バンクーバー沖縄県友愛会 県庁において10丁

2023年 スイス ハン・エマヌエルへ うるま市勝連平敷屋区に
おいて5丁
トルコ トルコ在日本国大使館公使岩佐敬昭へ儀保弘民
謡研究所において 10丁

2024年 7月26日 公益財団法人おきぎんふるさと振興基金助成
金認証

7月27日 RBCi ラジオスペシャル「世界の兄弟へ三線
を贈るプロジェクト」放映

8月11日 10周年記念事業 パリ沖縄祭り派遣資
金造成公演&現代の名工 又吉章盛の世界・三線展
うるま市民劇場 響ホール

8月23日 トルコ発 NHK「国際報道2024」「世界の
兄弟へ三線を贈るプロジェクト」放映第1弾

10月5日 令和6年度海外県人会活動支援事業 パリ・
沖縄祭り派遣（2日から10日）現代の名工（三線工）又
吉章盛、勝連盛豊、山城艶子、又吉采也、鈴木 信（沖縄
長寿科学研究センター長）久高泰子フランス沖縄県人会
会長へ贈呈 10丁

2024年 10月30日 NHK おきなわホットアイ「パリ・沖縄祭り」「世
界の兄弟へ三線を贈るプロジェクト」第2弾放映

11月27日 NHK おきなわホットアイ「トルコへ咲く三
線の花」「世界の兄弟へ三線を贈るプロジェクト」第3弾放
映

11月28日 平成6年度 うるま市海外移住者子弟研修
生 安慶名ジオゴ昭夫、照屋セリネゆみへ贈呈 2丁
主催 うるま市 市民労働政策課

12月4日 NHK おきなわホットアイ「世界の兄弟へ三線
を贈るプロジェクト」第4弾放映

2025年 1月7日 NHK 全国放映 お早よう日本





世界の兄弟へ三線を贈るプロジェクト

海外の沖縄県人会が100年の時を経て今日あるのは、次世代を繋ぐ世界に誇る空手はじめ三線、琉球舞踊、琉球民謡、エイサー、組踊、紅型など豊かな文化があるからです。また移民とともに海を渡った文化・芸能は、世界の移住地の文化ととけ合って新たな息づかいを伝えていますが、今日では世界の若者たちが沖縄の文化・芸能を求めて来沖するのも珍しくありません。

「世界の兄弟へ三線を贈るプロジェクト」は、毎年三線10丁を世界の国々へ贈り、沖縄文化を世界へ発信するするとともに、これからの沖縄の子供たちへ素晴らしい文化を伝え、誇りと夢を持たせる運動です。

世界の兄弟へ三線を贈るプロジェクト

代表 勝 連 盛 豊



メッセージ 小橋川 慧 カナダ・トロント



カナダで古里の文化・芸能に感動

カナダの最大都市トロントに隣接するミシサガ市（人口約77万人）では、日本文化を紹介する大規模な日本祭りが2016年以来開かれてきた。2020年は新型コロナ感染拡大の影響で、オンラインによる「バーチャル・ジャパン・フェスティバル」として開催された。沖縄県人のカナダへの移民120周年にあたるため、3時間30分の放映時間のうち20%を沖縄紹介に使われた。まず紅型三宗家の一つとして、王朝時代から染物業に従事してきた城間びんがた工房16代目の城間栄市さんの業績が紹介された。続いてファッションデザイナーの山内カンナさん、沖縄での作陶を続け40年余りになるポール・ロリマーさん、太さ0・03ミリのペン先の点

だけで絵を描く「天描画家」の大城清太さんらの作品と創作意欲についての紹介があった。

芸能の部では、国指定重要文化財「中村家」をバックに、6代目ネーネーズの4人が「バイバイ沖縄」を楽しく歌った。琉球芸能の革新を目指す「ネオ・リュウキュウ」（与那覇仁代表）は創作琉舞を優雅に舞い、獅子舞をユーモラスに披露し、創作エイサーを勇壮に演舞した。オンラインで行われたので、広いカナダの各地で沖縄関係者は日本祭に参加でき、多くの反応があった。カルガリー県人会では予定のピクニックを途中で切り上げて、テレビにかじりついたという。「エイサーの大太鼓の音、指笛の響きには泣きそうになった」と古里の芸能を堪能。美術専攻者は、「沖縄の美術工芸作品に強い印象を受けた」という。多くの人々が異口同音に「沖縄には私たちの知らない魅力がまだまだあることを知った。」そして「沖縄の魅力のある文化がカナダの日本祭を通して世界に紹介されたことを誇らしく感じた」と喜んだ。沖縄の人が開拓し、築き上げた優れた多種の文化が、古里沖縄にあることを多くの人々が痛感し、沖縄に誇りを抱いた祭であることを本当に嬉しく思った。今回の映像は、沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）沖縄フィルムオフィスが製作。美術工芸の分野では、紅型だけでなく琉球漆器や琉球ガラスの世界もある。琉球音楽・舞踊の世界もさらに日本祭を通して世界に紹介して欲しい。と沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）に願いたい。

カンカラ三線考

トロント市内で開催された「沖縄祭り」は、沖縄県人会の三線クラブに、ブラジル四世の上田朋美さんが加わって沖縄文化の紹介に貢献した。ユニークだったのは上江田さんがすっかり忘れていた「カンカラ三線」で参加したのだ。私がカンカラ三線に初めて接したのは戦後1年以上経っていた。かなり親しくしていた当時16歳の青年が、近くの米軍のチリ捨て場から拾ってきた缶詰の空き缶を胴に、野戦用ベッドの木枠を棹に、そして落下傘の絹糸を弦にして、三線をつくりあげていた。同じころ、その青年の父親は見事な三線を持ちだして、夜な夜な弾いていた。三線の音色につられて人々が集まるようになった。ある日「あの見事の三線はどこで入手したのか」とそばの人に尋ねると、「沖縄戦が始まると、あの人は三線だけ持って墓に避難した」と言う。「三線はあの人の命から2番目に大切なのだね」と言うと、「あの人は1.5番に大切だよ」と言い返された。

さて、当時の高校生の服装はダブダブのHBTジャケット（米海兵隊の戦闘服）、食べ物といえば三食ありつけたが、ほとんど毎食がサツマイモ。住まいは私の集落では、藁屋根やトタン屋根はまだなく米軍戦闘用のテントが整然と並んでいた。高校生時に電灯などなかった。人間は全てを失った場合どうするのだろう。まずは生活の基礎、衣・食・住を求めて動き出すと教えられた。その基礎のぎりぎりの底辺に達したときに、人は歌を作りそのための楽器を求めたのだろうと思った。沖縄戦の体験のない私に「それは違う」と言う友がいた。沖縄戦直後、沖縄の住民は収容所（難民キャンプ）に集められ、いつ元の生活に戻れるのか分からない状態だった。カンカラ三線はそのような状況で誕生したという。すべてを失った時、人間は衣食住だけを考えるのではない。慣れ親しんだ「文化」を求める。カンカラ三線は人間の本質を教えていると愚考した昔を懐かしく思い出した。

メッセージ ハン・エマヌエル スイス



私は何しに沖縄にやってきたのか？

私は今年の5月に沖縄の民謡と伝統的な踊りを学ぶためにスイスから来ました。それ以前は、独学で沖縄民謡とエイサーを学び、スイスで唯一の教師として教えていました。ところが先生なしで学ぶと、ある一定のレベルで止まってしまい、繊細な部分を伸ばすのが難しくなりました。私をもっと成長するためには、良い先生が必要でした。私は今、沖縄でその先生を見つける事が出来ました。民謡は琉球国民謡協会の神谷幸一先生から習っています。また伝統的な踊りもいろいろな人から習っています。私は、一緒に歌って踊るのが楽しいです。その為に必ずしも舞台が必要なわけではありません。必要なのは人の集まりです。積極的に歌ったり、踊ったりしてくれる人が多ければ多いほど、嬉しくなります。私が伝統的な唄や踊りに興味を持つのは、そこに何世代にも渡って熟成され、大切にされてきたものだけが持つ真実味や深い知恵を感じるから

です。このような唄や踊りの稽古が殆どないスイスとは対照的に、沖縄ではかなりの人々が稽古している風景をよく見ます。

沖縄の先生方と私の技量を比べても、まったく意味がありません。なぜなら、私はここでは明らかにまだ初心者だからです。私が先生方の域に達するためには、何十年もの練習を経なければ達成できません。そして、そのような成熟が私の目標です。そこまでに到達するには何十年もかかるだろう。私は教えることが本当に好きです。沖縄で師範免許取得まで頑張ります。

世界の三線広場から

三線贈呈国

2014年 ドイツ沖縄県人会

2015年 フィリピン沖縄県人会

2016年 ブラジル・うりずん会

北米沖縄県人会

2017年 ペルー沖縄県人会

2018年 ボリビア沖縄県人会

2019年 ハワイ沖縄連合会

2020年 フランス ・ 沖縄欧州文化連合会

2021年 在沖縄ミャンマー人会

2022年 カナダ県人連合会 ・ トロント球陽会 ・ バンクーバー
県友愛会。カルガリー沖縄県人会

2023年 トルコ日本基金 ・ スイス エマ三線愛好会

2024年 フランス・パリ沖縄祭り ・ フランス沖縄県人会

うるま市海外移住者指定研修生

安慶名 ジオゴ 昭夫、

照屋 セリネ ゆみへ2丁贈呈

